

# 【短報】宮崎県からのオオミイデラゴミムシの採集記録

オオミイデラゴミムシ *Pheropsophus javanus* (Dejean) はインド、ミャンマー、タイ、中国、日本、台湾、ベトナム、インドネシア（ジャワ島、スマトラ島、ボルネオ島）、フィリピン、パプアニューギニア、ロシアに分布する（Akhil & Sabu, 2019）。国内では主に薩南諸島と琉球諸島に分布するが（Habū, 1984）、本土部においても、宮崎県（永井, 1974）、三重県（市橋, 1964；久保田, 1996；生川ほか, 2011）、愛知県（蟹江, 1989；岩崎・蟹江, 1990；豊田市, 2016；豊田市自然環境基礎調査会, 2005；河路, 2017）の3県に記録がある。なお、豊田市（2016）には、分布に南九州と記述されているが、著者らに伺ったところ、これは九州本土部を含むものではなく、南西諸島一帯を意図したものであると教授いただいた。

宮崎県では、1970年に日向市で採集された1個体の記録が既に知られているが（永井, 1974）、現在記録された標本の所在は、所有者に尋ねたところ不明であることが分かった。そのため、宮崎県における本種の確実な記録を残すことを目的とし、筆者が同市内において採集した標本を交尾器も含め検したのでここに報告する。

4 exs., 宮崎県日向市比良, 1. V. 2016, 筆者採集；5 exs., 同所, 4. VIII. 2016, 筆者採集, 愛媛大学ミュージアム保管。

水を張った休耕田で、さなぎ粉を誘引剤として用いたピットホールトラップを設置したところ、同属のミイデラゴミムシ *Pheropsophus jessoensis* Morawitz や、コキベリアオゴミムシ *Chlaenius circumdatus* Chaudoir などの湿地性ゴミムシ数種と共に得られた。

本種は分布の中心が南方で、国内本土部での生息域が太平洋沿岸部に偏ってい

ることから、太平洋沿岸側で更なる産地が発見される可能性がある。頭部の黒斑が二又に分かれることから、国内に産する同属の他種と容易に識別することができる（Habū, 1967）。

末筆ながら、原稿に目を通してくださった吉富博之准教授（愛媛大学農学部）、貴重な文献を提供して頂いた愛知県の大野友豪氏、宮崎市の小松孝寛氏、記録の確認をして下さった瀬戸市の蟹江昇氏、名古屋市の戸田尚希氏、都城市の木野田毅氏、そして御指導および種々の御意見を下さった大阪市立自然史博物館外来研究員の伊藤昇氏に深く感謝申し上げる。

## 引用文献

- Akhil, S. V. & K. T. Sabu, 2019. Bombardier beetles of the genus *Pheropsophus* Solier 1833 (Carabidae: Brachininae: Brachinini) from Indian subcontinent. *Zootaxa*, 4608 (1): 65–89.
- Habū, A., 1967. Fauna japonica Carabidae *Truncatipennes* group (Insecta: Coleoptera). pp. 410, Biogeographical Society of Japan.
- Habū, A., 1984. Revised and supplementary notes on and description of the *Truncatipennes* group of Japan (IV) (Coleoptera, Carabidae). *The Entomological Review of Japan*, 39: 101–173.
- 市橋 甫, 1964. 三重県にオオミイデラゴミムシ産す。ひらくら, 8 (4): 43.
- 岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類, 309–338. 愛知県の昆虫 (上). pp. 506, 愛知県昆虫分布研究会.
- 蟹江 昇, 1989. 知多半島 (愛知県) で採集されたオオミイデラゴミムシ. 月刊むし, (226): 2.
- 河路圭吾, 2017. 庄内川で採集したホソクビゴミムシ類 (庄内川5報). 佳香蝶, 69 (270): 21.
- 久保田耕平, 1996. オオミイデラゴミムシを阿児町で採集。ひらくら, 40 (1): 18.
- 永井あつし, 1974. 甲虫雑報 (2). タテハモドキ, (9): 4.
- 生川展行・中山 惇・岡由佳理・横関秀行・稲垣政志・官能健次・市川 太, 2011. 志摩半島の甲虫, 66–195. 生川展行, 志摩半島の昆虫. pp. 302, 三重昆虫談話会.
- 豊田市生物調査報告書作成委員会, 2016. 生物調査報告書<分冊その2>, IX 昆虫. pp. 379, 豊田市.
- 豊田市自然環境基礎調査会, 2005. 豊田市自然環境基礎調査報告書. pp. 435, 豊田市.

(椎葉暲太 790–8566 松山市樽味 3–5–7

愛媛大学農学部)



図1. オオミイデラゴミムシ。



図2. ♂交尾器側面。

## <データベース紹介>

ハネカクシ上科の高次分類学者の A. F. Newton はウェブサイト上で世界のハネカクシ下目の目録を公開している。2018年11月までに認められた種・亜種を全て掲載している。その URL は <http://catalogueoflife.com/col/details/database/id/204> である。ハネカクシ下目の研究者必見のデータベースである。

(樽宗一郎 東京農業大学昆虫学研究室)